

各位

杜の都信用金庫

## 2021年度決算状況（速報）について

杜の都信用金庫の2021年度決算状況についてお知らせいたします。

### 【1】収益面について

◇ 経常利益、当期純利益ともに増益となりました。

(%表示は対前期比増減率)

	経常収益		経常利益		業務純益		コア業務純益		最終当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月	5,738	△8.8	851	25.0	1,601	13.2	1,488	△5.6	583	18.7
2021年3月	6,292	△9.4	680	182.4	1,413	43.7	1,577	30.7	491	54.0

経常収益は、貸出金利息や有価証券利息配当金の減少などにより減収となりましたが、経費や与信関係費用が減少したことなどにより、経常利益、業務純益、当期純利益は増益となりました。

### 【2】業容面について

◇ 預金残高は増加し、貸出金残高は横ばいとなりました。

(%表示は対前期比増減率)

	預 金				貸 出 金			
	平 残		末 残		平 残		末 残	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月	571,358	6.2	614,913	6.4	322,509	△0.0	335,014	0.5
2021年3月	537,959	5.6	577,624	7.3	322,537	0.9	333,337	5.1

預金は、懸賞付定期預金や定期積金などの企画商品がご好評をいただいたことなどから、平残・末残ともに増加しました。

貸出金は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けたお客さまの資金繰り支援などの資金ニーズにお応えするなど、円滑な資金供給に努めてまいりました結果、平残・末残ともにほぼ横ばいとなりました。

### 【3】健全性について

◇ 地域金融機関として十分な健全性を維持しています。

	自己資本比率		不良債権比率	
2022年3月末	10.01%	0.08ポイント上昇	2.47%	0.09ポイント低下
2021年3月末	9.93%	0.84ポイント上昇	2.56%	0.49ポイント低下

※不良債権比率は、金融再生法に基づき表記しております。

自己資本比率は、国内基準である4%を上回っており、経営の健全性、安全性を充分保っております。

杜の都信用金庫は、笑顔と感謝の気持ちを忘れずに、「もっとも相談しやすい地元のしんきん」として、地域やお客さまの課題解決に貢献できるよう努めてまいります。



もっともっと、「しんきん感」向上宣言!  
杜の都信用金庫